

# 静岡県月例経済報告

(平成28年9月号)

……平成28年7月を中心とした県内経済のすがた……

No. 485

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	4
・ 需要面 .....	4
・ 生産面 .....	13
・ 雇用面 .....	15
・ その他 .....	18
III 静岡県主要産業の動向 .....	22
IV データからみた県内主要産業 .....	25

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、平成28年7月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概 況

平成28年7月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱い動きがみられる。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産面での弱い動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、減少している。
- ・ 生産は、減少している。

## 需 要 面

### ◎個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

大型小売店販売額(7月)は、百貨店が5か月ぶり、スーパーが2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも、2か月ぶりに前年を上回った。

専門量販店等販売額(7月)は、家電大型専門店が2か月連続、ドラッグストアが16か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回った。また、コンビニエンスストアも前年実績を上回ったことから、総額でも前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(7月)は、乗用車が4か月ぶり、軽自動車は19か月連続で、いずれも前年実績を下回ったことから、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

### ◎住宅建設は、前年を上回った。

持家が4か月ぶり、貸家が2か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

### ◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(7月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

### ◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成28年7月1日)の28年度設備投資計画は、製造業で増加、非製造業で減少する計画となっており、全産業では増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(7月)は、4か月ぶりに前年実績を上回った。

## ◎輸出は、減少している。

### 輸入は、前年を下回った。

輸出総額（7月）は、エアコンが7か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機が3か月連続、自動車は15か月連続、自動車の部分品が12か月連続、二輪自動車類が2か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも5か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（7月）は、パルプや自動車の部分品などで前年実績を下回ったことから、全体でも8か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、931億円の輸出超過となった。

## 生産面

### ◎生産は、減少している。

鉱工業生産指数（6月）は、はん用・生産用・業務用機械が5か月ぶり、電気機械が5か月連続、化学が13か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械が16か月連続、パルプ・紙・紙加工品が4か月連続、食料品・たばこが5か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも6か月連続で前年を下回った。また、2か月ぶりに前月を上回った。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では前年と同水準となった。

## 雇用面

### ◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（7月）は1.36倍で、前月を0.02ポイント上回り、30か月連続で1倍を上回った。また、3か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（7月）は、36か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（6月）は、前年を上回った。

## その他

### ◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（7月）は、前年同月比2.7%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（7月）は、前年同月比5.9%減と前年実績を下回った。

### ◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を上回った。

企業倒産（8月）は、件数は19件で前年同月比5.5%増、負債総額は前年同月比8.7%増となり、いずれも前年実績を上回った。

<<県の取組>>

【 静岡県医療健康産業研究開発センター（愛称：ファルマバレーセンター）開所式 】

平成28年9月1日（木）、長泉町に「静岡県医療健康産業研究開発センター（愛称：ファルマバレーセンター）」が開所しました。

開所を記念して、9月5日（月）に、入居企業をはじめ、国や地元市町、経済界や研究機関などから、200人を超える関係者が出席し、開所式を行いました。

ファルマバレーセンターは、医療健康産業の集積と振興を目指す「ファルマバレープロジェクト」の新たな拠点となる施設です。

隣接する県立静岡がんセンターと連携し、医療機器の研究開発や異業種との交流によるオープンイノベーションの場として、入居企業（テルモ（株）や東海部品工業（株）など12の企業が入居）や、地域企業による製品化・事業化を支援していきます。



（ 概 要 ）

- 1 日 時 平成28年9月5日（月）
- 2 場 所 静岡県医療健康産業研究開発センター（愛称：ファルマバレーセンター）  
（駿東郡長泉町下長窪1002-1）
- 3 内 容

時 間	内 容
午前10時30分	記念式典：知事あいさつ、来賓祝辞、テープカット
午前11時00分 から 午後1時00分	施設説明会：プロジェクトの歩み（山口静岡がんセンター総長） 施設概要説明（指定管理者） 館内視察：式典招待者向け内覧会 祝賀交流会：入居企業紹介

4 出席者 約200人

市町長、国会議員、県議会議員、入居企業関係者、関係企業、関係省庁職員、第3次戦略計画検討委員会等関係委員、連携大学関係者、産業団体、金融機関、静岡がんセンター関係企業、ファルマバレーセンター関係医療機関、長泉高校関係者、報道機関  
静岡県知事、静岡がんセンター総長など

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

7月 = 35,711百万円

\*前年同月比： 0.7%増

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

7月の大型小売店販売額は35,711百万円で、前年同月比0.7%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 1.1%増）が5か月ぶり、スーパー（同 0.5%増）が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総合でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、家庭用品（前年同月比 2.4%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品（同 0.9%増）が2か月連続、身の回り品（同 1.3%増）が5か月ぶり、飲食料品（同 0.6%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.9%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額(百万円)	42,800	37,052	32,077	34,394	32,936	34,074	33,329	35,711
前年同月比(%)	0.2	1.8	3.5	0.5	1.0	▲1.1	0.0	0.7
うち百貨店(%)	▲1.5	▲0.8	2.0	▲1.4	▲2.5	▲5.1	▲3.4	1.1
スーパー(%)	0.7	2.5	3.8	1.1	1.9	▲0.1	0.9	0.5
(参考1)全国前年同月比(%)	0.0	1.0	2.2	▲1.2	▲0.7	▲2.2	▲1.5	0.6
うち百貨店(%)	0.3	▲1.5	0.5	▲2.8	▲3.6	▲4.8	▲3.6	▲0.2
スーパー(%)	▲0.2	2.4	3.1	▲0.3	0.8	▲0.8	▲0.4	1.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.4	2.4	4.8	0.5	0.1	▲1.3	0.3	0.9

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲5.2	▲1.2	2.2	▲2.8	1.8	▲4.9	1.6	0.9
うち紳士服・洋品	▲7.8	▲2.1	5.9	1.5	4.5	2.7	6.2	4.1
婦人・子供服・洋品	▲3.6	▲1.6	0.0	▲4.7	0.9	▲7.5	▲0.5	0.7
身の回り品	▲2.0	1.1	0.2	▲3.6	▲4.9	▲5.7	▲2.3	1.3
飲食料品	2.2	3.1	4.3	1.8	1.7	▲0.3	▲0.1	0.6
家庭用品	0.3	6.4	6.8	▲5.7	▲11.2	▲3.8	▲4.6	▲2.4
うち家庭用電気機械器具	29.1	37.6	18.7	▲8.2	▲1.4	2.1	7.1	▲2.4

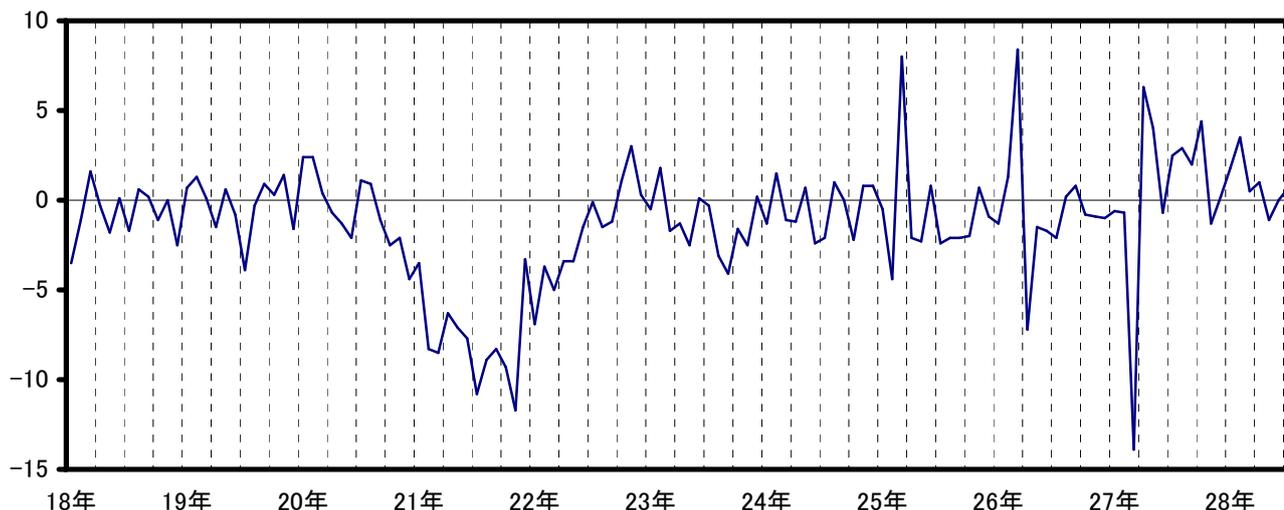
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



## (2) 百貨店販売額

7月 = 7,052百万円

\*前年同月比： 1.1%増

(県内3百貨店販売額)

### <概況>

7月の県内3百貨店の販売額は7,052百万円で、前年同月比 1.1%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別にみると、衣料品（前年同月比 1.6%減）が9か月連続、食料品（同 2.1%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、身の回り品（同 5.4%増）が6か月ぶり、家庭用品（同 9.3%増）が4か月ぶり、雑貨（同 8.4%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額（百万円）	9,026	6,971	5,540	6,827	5,726	5,788	5,860	7,052
前年同月比（%）	▲ 2.7	▲ 2.1	0.7	▲ 2.6	▲ 2.5	▲ 5.1	▲ 3.4	1.1
(参考)全国前年同月比（%）	0.1	▲ 1.9	0.2	▲ 2.9	▲ 3.8	▲ 5.1	▲ 3.5	▲ 0.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

### <品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

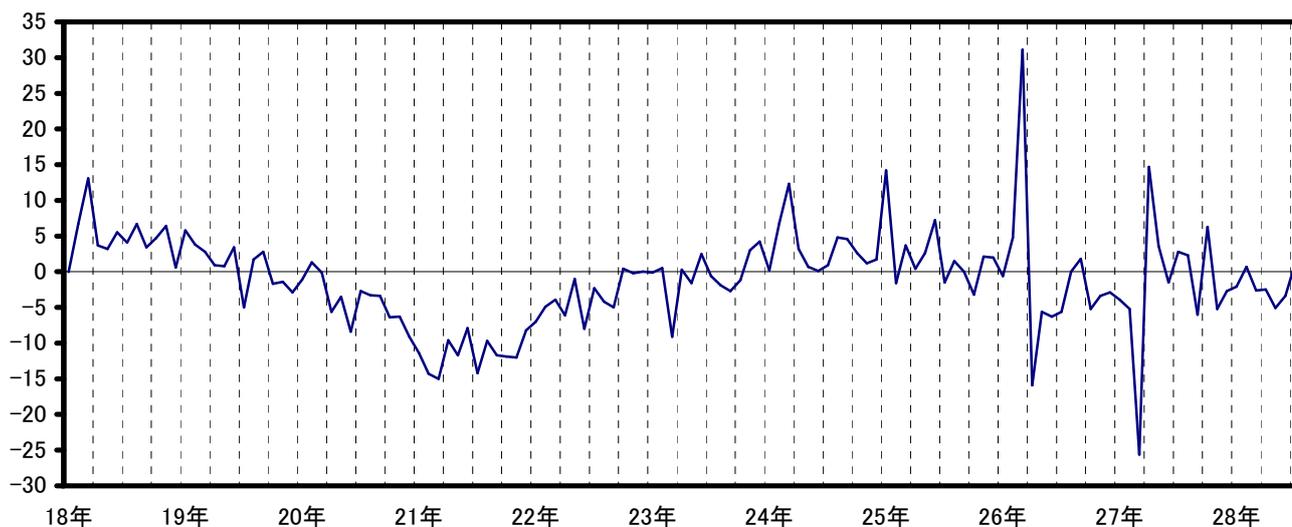
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
衣料品	▲ 6.0	▲ 6.5	▲ 6.6	▲ 7.9	▲ 5.4	▲ 12.2	▲ 5.3	▲ 1.6
うち紳士服・洋品	▲ 8.7	▲ 7.6	▲ 9.9	▲ 5.9	▲ 7.8	▲ 8.2	▲ 10.3	▲ 5.7
婦人服・洋品	▲ 4.4	▲ 6.7	▲ 5.1	▲ 9.1	▲ 5.8	▲ 12.9	▲ 2.6	0.3
子供服・洋品	▲ 7.3	▲ 10.0	▲ 16.4	▲ 10.4	6.3	▲ 11.2	▲ 17.3	▲ 8.2
身の回り品	▲ 0.8	0.6	▲ 0.5	▲ 3.5	▲ 2.8	▲ 4.9	▲ 1.0	5.4
家庭用品	▲ 15.3	2.3	4.2	1.1	▲ 28.4	▲ 3.1	▲ 15.6	9.3
食料品	0.7	3.2	3.4	1.5	2.7	▲ 4.2	▲ 3.2	▲ 2.1
雑貨	▲ 0.5	▲ 0.8	11.0	4.4	10.1	11.4	5.2	8.4
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 5.8	▲ 20.3	5.2	0.0	0.3	2.6	▲ 7.1	▲ 11.0

(注)店舗数調整済

### <過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



### (3) 専門量販店等販売額

7月 = 72,320百万円

\*前年同月比： 4.1%増

(県内88家電大型専門店、1,744コンビニエンスストア、448ドラッグストア、101ホームセンター合計)

#### <概況>

7月の専門量販店等販売額は72,320百万円で、前年同月比4.1%増となり、前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 0.1%増）が2か月連続、ドラッグストア（同 5.6%増）が16か月連続、ホームセンター（同 6.7%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。また、コンビニエンスストア（同 3.8%増）も前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
販売額（百万円）	42,593	34,535	31,796	36,581	34,569	36,059	35,269	72,320
前年同月比（%）	2.4	5.9	5.5	0.6	5.2	0.2	3.4	4.1
うち 家電大型専門店（%）	▲ 5.0	5.1	▲ 0.6	▲ 5.5	0.5	▲ 1.3	7.1	0.1
コンビニエンスストア（%）	—	—	—	—	—	—	—	3.8
ドラッグストア（%）	10.6	7.9	10.0	5.2	8.3	2.8	3.9	5.6
ホームセンター（%）	▲ 3.7	2.2	1.4	▲ 1.8	3.1	▲ 3.7	▲ 1.0	6.7
(参考)全国前年同月比（%）	1.1	5.1	4.8	0.6	4.6	0.5	3.1	3.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

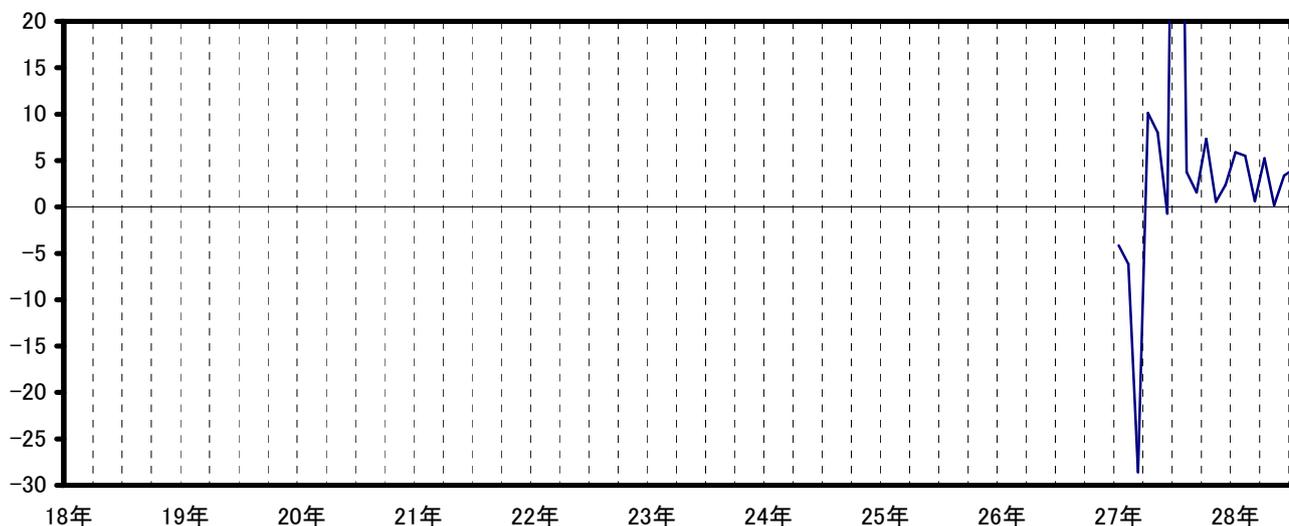
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

#### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



#### (4) 自動車(新車)新規登録台数

7月 = 13,630台

\*前年同月比： 4.1%減

(乗用車、軽自動車合計)

##### <概況>

7月の自動車(新車)新規登録台数は13,630台(前年同月比 4.1%減)となり、3か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 1.1%減)が4か月ぶり、軽自動車(同 8.0%減)が19か月連続でいずれも前年実績を下回った。

##### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
登録台数(台)	13,192	14,747	17,217	22,040	10,428	11,198	14,201	13,630
前年同月比(%)	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 14.6	▲ 4.4	▲ 5.2	▲ 9.3	2.2	▲ 1.4	▲ 5.6	▲ 2.2

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

##### <車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

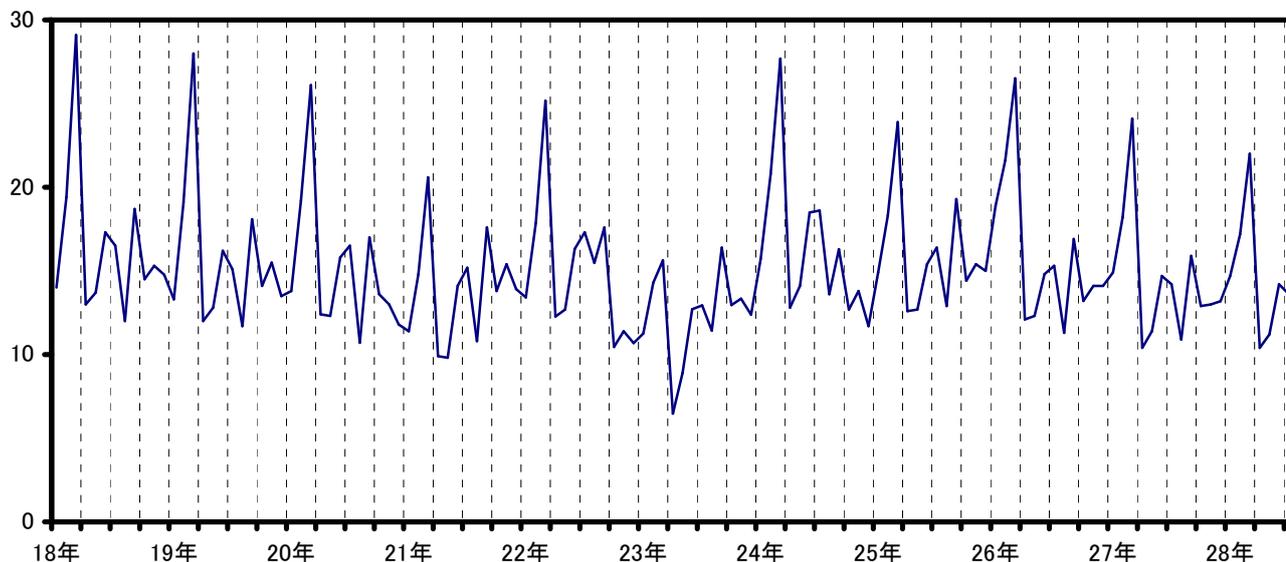
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
全乗用車	▲ 6.8	▲ 0.9	▲ 5.3	▲ 8.4	0.5	▲ 2.0	▲ 3.5	▲ 4.1
乗用車	4.5	7.9	▲ 1.9	▲ 1.0	11.6	6.6	5.5	▲ 1.1
軽自動車	▲ 17.9	▲ 9.6	▲ 8.9	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 12.2	▲ 14.3	▲ 8.0

<資料>県税務課

##### <過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

7月 = 2,356戸

\*前年同月比：23.5%増

### <概況>

7月の新設住宅着工戸数は2,356戸で、前年同月比23.5%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比13.9%増）が4か月ぶり、貸家（同28.3%増）が2か月ぶり、分譲住宅（同53.0%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

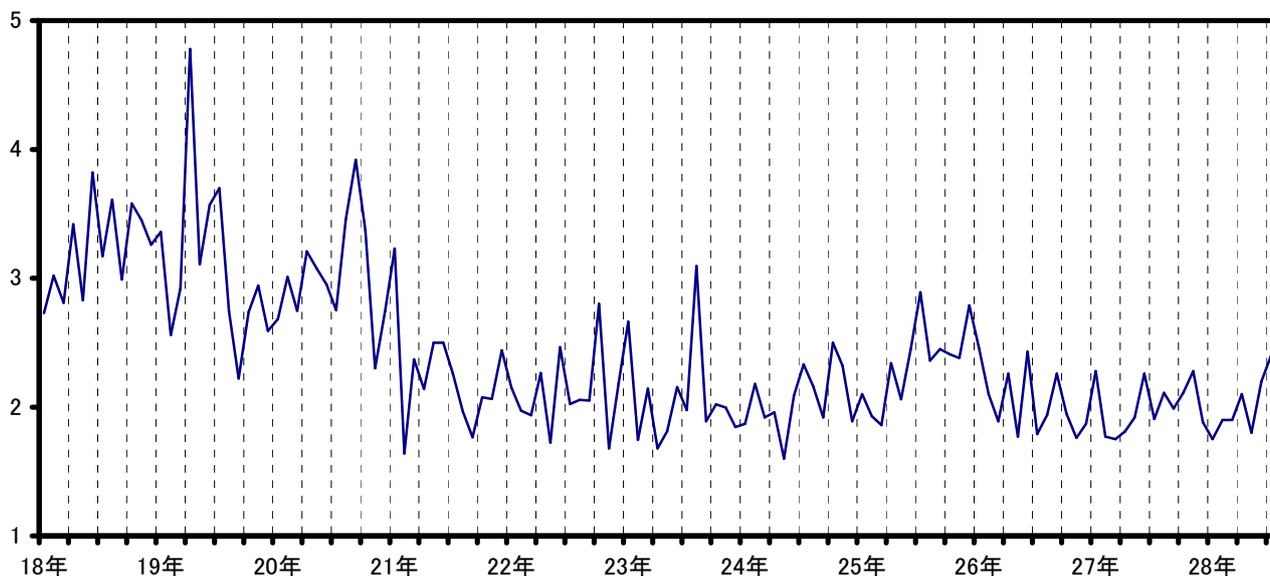
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
戸数（戸）	1,883	1,753	1,895	1,885	2,096	1,817	2,195	2,356
前年同月比（%）	0.6	▲23.0	7.0	7.7	16.1	▲5.1	▲2.7	23.5
うち持家（%）	▲1.2	▲16.3	▲9.4	2.0	▲9.4	▲0.3	▲12.5	13.9
貸家（%）	▲14.6	5.8	9.3	9.9	33.8	21.7	▲6.5	28.3
分譲住宅（%）	31.2	▲63.6	55.8	33.0	90.6	▲44.0	24.4	53.0
（参考）全国前年同月比（%）	▲1.3	0.2	7.8	8.4	9.0	9.8	▲2.5	8.9

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



### 3 公共工事請負金額

7月 = 28,013百万円

\*前年同月比： 7.1%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

7月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は28,013百万円で、前年同月比7.1%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は818件で、前年同月比5.1%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額(百万円)	15,359	8,963	6,499	15,013	50,393	19,103	22,745	28,013
前年同月比(%)	▲0.6	▲5.4	▲19.7	▲0.7	28.7	▲19.8	▲5.4	▲7.1
年度累計前年同月比(%)	▲4.0	▲4.1	▲4.6	▲4.4	28.7	10.3	6.0	2.6
件数(件)	805	441	159	167	478	393	631	818
前年同月比(%)	7.5	▲4.5	▲44.8	▲8.7	3.7	8.3	5.9	▲5.1
年度累計前年同月比(%)	▲1.7	▲1.9	▲3.5	▲3.6	3.7	5.7	5.8	1.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位:%)

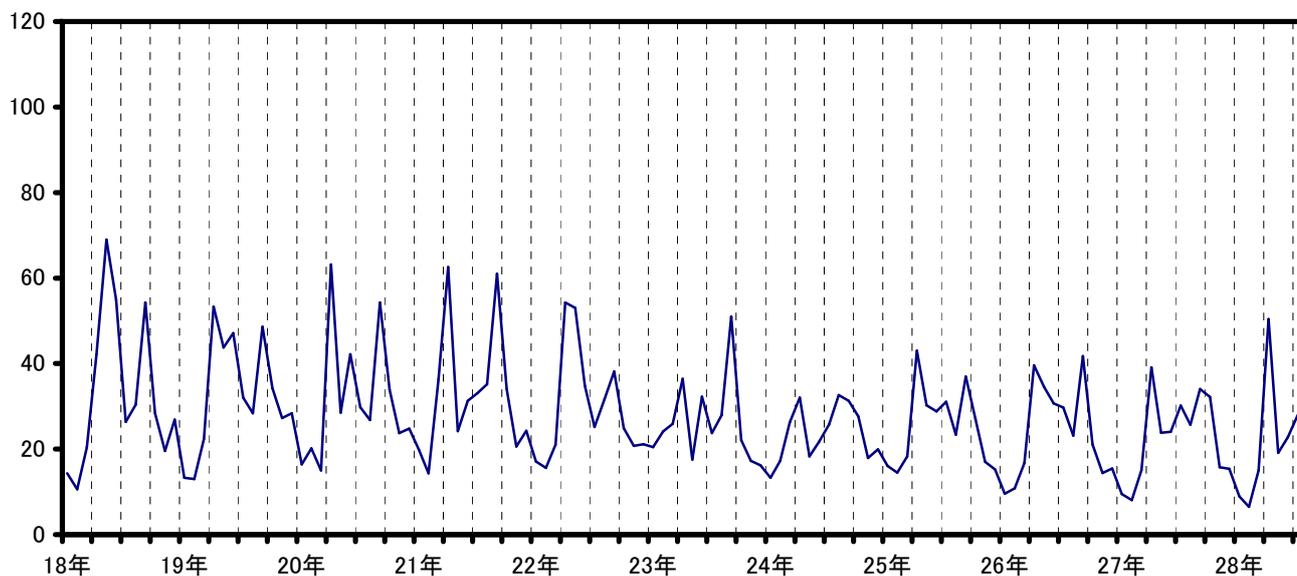
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国	8.4	72.0	17.0	▲19.5	84.8	4.4	▲64.0	▲47.0
独立行政法人等	▲11.0	▲92.4	▲64.3	1,900.6	103.0	▲17.8	40.3	210.7
県	17.4	▲15.5	▲60.3	▲46.5	15.7	▲27.1	▲3.0	▲30.4
市町	▲0.5	18.1	▲10.6	▲17.6	▲15.0	▲32.5	10.0	10.8
地方公社	218.8	1,780.0	—	—	—	9,445.5	—	—
その他	▲46.1	▲45.6	87.8	90.3	98.8	▲20.0	0.8	▲16.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



## 4 設備投資

### <概況>

平成27年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 17.1%増）、非製造業（同 1.8%増）ともに増加したことから、全産業（同 9.6%増）でも増加となった。

平成28年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 17.1%増）で増加、非製造業（同 0.4%減）で減少、全産業（同 9.1%増）では増加する計画となっている。

7月の着工建築物床面積（非居住用）は108,356㎡で、前年同月比 10.6%増となり、4か月ぶりに前年実績を上回った。

### <企業短期経済観測調査結果>

（前年度比% （ ）内は前回調査比修正率）

		27年度 （実績）	27年度		28年度 （計画）	28年度	
			上期 （実績）	下期 （実績）		上期 （計画）	下期 （計画）
全産業	県	(▲5.5) 9.6	(▲0.3) 13.4	(▲9.6) 6.5	(3.3) 9.1	(3.8) 14.5	(2.8) 4.5
	全国	(▲2.8) 5.0	4.2	(▲3.9) 5.6	(2.5) 0.4	(1.5) 9.4	(3.4) ▲6.6
製造業	県	(▲5.3) 17.1	(0.3) 22.7	(▲9.0) 13.2	(3.2) 17.1	(▲4.5) 23.9	(10.5) 12.1
	全国	(▲1.5) 9.1	7.1	(▲2.7) 10.7	(5.3) 6.0	(4.8) 18.8	(5.9) ▲3.8
非製造業	県	(▲5.9) 1.8	(▲0.9) 5.3	(▲10.4) ▲1.3	(3.4) ▲0.4	(15.8) 5.0	(▲7.4) ▲5.7
	全国	(▲3.5) 2.9	2.7	(▲4.5) 3.1	(1.0) ▲2.5	(▲0.4) 4.6	(2.1) ▲8.0

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成28年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成28年6月調査）」

### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	86,797	143,745	82,939	154,306	89,979	67,384	99,402	108,356
前年同月比（%）	▲16.9	100.2	▲0.6	151.3	▲14.4	▲32.6	▲25.2	10.6
（参考）全国前年同月比（%）	6.7	▲11.1	▲12.0	12.7	▲22.0	19.0	4.2	▲19.1

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年3月	28年6月	28年9月 （予測）
全産業	7	3	▲3
製造業	2	▲2	▲4
非製造業	11	7	▲2
（参考）全国・全産業	7	4	2

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成28年6月調査）」

## 5 輸出

7月 = 160,799百万円

\*前年同月比： 11.7%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸出総額は160,799百万円で、前年同月比 11.7%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 20.5%増）が7か月ぶりに前年実績を上回ったものの、原動機（同 1.2%減）が3か月連続、自動車（同 38.7%減）が15か月連続、自動車の部分品（同 8.7%減）が12か月連続、二輪自動車類（同 9.2%減）が2か月連続、科学光学機器（同 24.6%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 4.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジア向け（同 13.7%減）が5か月連続、米国向け（同 5.4%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸出総額(百万円)	179,516	143,606	168,867	179,315	167,022	139,497	156,025	160,799
前年同月比(%)	▲ 5.7	▲ 13.5	3.5	▲ 1.7	▲ 3.1	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 11.7

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
原動機	7.3	7.2	16.9	27.9	5.3	▲ 1.5	▲ 1.6	▲ 1.2
エアコン	22.9	▲ 24.2	▲ 11.0	▲ 19.1	▲ 1.9	▲ 4.1	▲ 6.7	20.5
自動車	▲ 19.2	▲ 46.5	▲ 25.9	▲ 19.8	▲ 9.5	▲ 34.3	▲ 1.2	▲ 38.7
自動車の部分品	▲ 3.9	▲ 20.4	▲ 4.8	▲ 4.8	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 9.3	▲ 8.7
二輪自動車類	▲ 27.2	▲ 22.9	▲ 3.1	▲ 2.7	14.1	14.2	▲ 11.1	▲ 9.2
科学光学機器	21.4	8.0	67.3	45.3	6.5	▲ 8.0	10.0	▲ 24.6

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	▲ 1.4	▲ 10.8	6.7	▲ 4.5	▲ 4.1	▲ 4.6	▲ 2.1	▲ 13.7
米国	▲ 20.7	▲ 5.2	4.3	5.9	▲ 5.6	▲ 14.7	▲ 7.1	▲ 5.4
EU	17.4	▲ 20.2	13.0	12.1	18.1	27.4	▲ 7.6	4.0

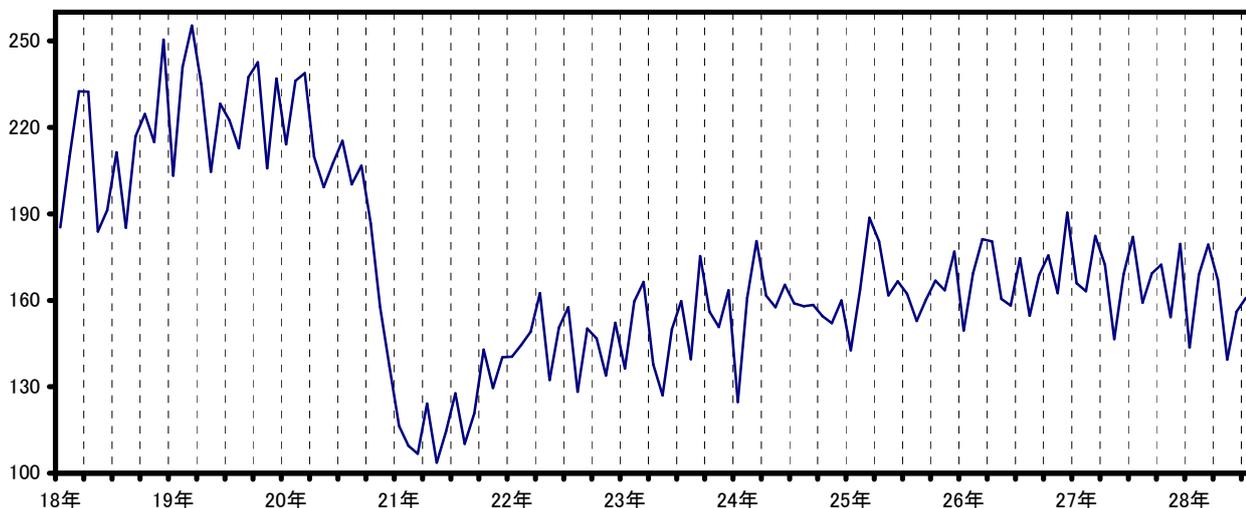
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



## 6 輸入

7月 = 67,652百万円

\*前年同月比： 21.5%減

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

7月の清水税関支署管内の輸入総額は67,652百万円で、前年同月比 21.5%減となり、8か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 45.7%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、魚介類（同 0.2%減）が2か月連続、木材（同 19.8%減）、パルプ（同 45.8%減）がいずれも7か月連続、紙類及び同製品（同 3.9%減）が2か月ぶり、自動車の部分品（同 42.5%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 16.8%減）が2か月連続、米国から（同 25.9%減）が5か月連続、EUから（同 7.8%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
輸入総額(百万円)	78,322	86,528	76,372	77,666	70,712	78,990	70,876	67,652
前年同月比(%)	▲ 18.4	▲ 11.2	▲ 10.7	▲ 11.0	▲ 21.6	▲ 0.7	▲ 13.3	▲ 21.5

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
魚介類	▲ 0.1	▲ 2.9	▲ 0.4	10.0	▲ 6.9	13.5	▲ 13.8	▲ 0.2
木材	21.6	▲ 11.0	▲ 12.9	▲ 10.1	▲ 34.4	▲ 10.7	▲ 15.0	▲ 19.8
パルプ	10.5	▲ 15.3	▲ 13.4	▲ 29.7	▲ 29.6	▲ 9.0	▲ 27.5	▲ 45.8
紙類及び同製品	32.2	23.4	24.9	42.7	▲ 6.7	▲ 1.2	24.8	▲ 3.9
原動機	▲ 27.1	▲ 1.4	▲ 51.6	99.8	▲ 55.3	39.9	53.7	45.7
自動車の部分品	▲ 1.5	4.5	▲ 42.4	▲ 36.2	▲ 42.7	▲ 37.7	▲ 26.3	▲ 42.5

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

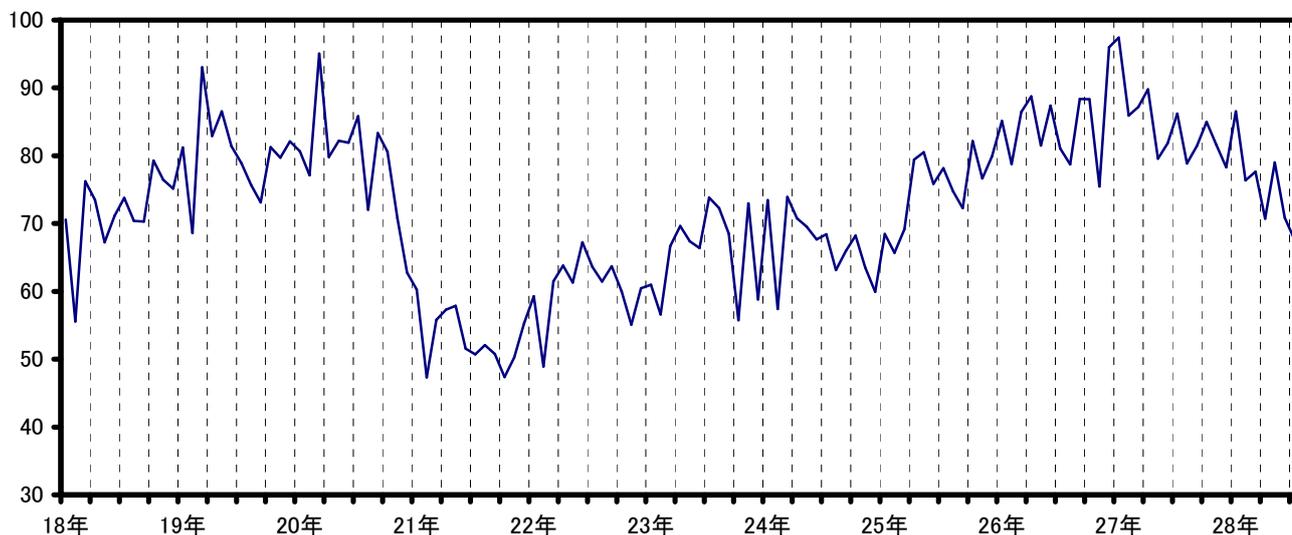
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
アジア	▲ 8.7	▲ 7.2	▲ 11.6	5.9	▲ 11.3	1.2	▲ 10.5	▲ 16.8
米国	▲ 33.1	17.2	4.7	▲ 10.1	▲ 18.1	▲ 14.9	▲ 10.0	▲ 25.9
EU	8.5	▲ 6.0	▲ 10.1	▲ 20.4	▲ 35.4	▲ 19.6	▲ 23.1	▲ 7.8

<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

6月 = 88.8

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 2.3%増

\*前年同月比(原指数) : 4.1%減

#### <概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は88.8(季節調整済指数)で、前月比2.3%増となり、2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は4.1%減と6か月連続で前年を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比3.1%増)が5か月ぶり、電気機械(同7.1%増)が5か月連続、化学(同5.8%増)が13か月連続で前年水準を上回ったものの、輸送機械(同15.1%減)が16か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同4.3%減)が4か月連続、食料品・たばこ(同10.6%減)が5か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	91.7	95.1	91.3	89.0	89.3	93.0	86.8	88.8
前月比(%)	1.2	3.7	▲4.0	▲2.5	0.3	4.1	▲6.7	2.3
前年同月比(%)	1.0	2.2	▲3.8	▲3.6	▲4.7	▲1.6	▲0.4	▲4.1
(参考)全国前年同月比(%)	1.6	▲1.6	▲3.8	▲1.5	▲5.2	▲3.5	▲0.1	▲1.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	13.7	▲3.6	0.6	▲13.5	▲3.3	▲0.5	▲3.4	3.1
電気機械工業	8.4	0.4	▲2.8	4.9	12.8	2.8	7.5	7.1
輸送機械工業	▲13.1	▲16.0	▲18.7	▲20.9	▲30.6	▲11.7	▲8.9	▲15.1
化学工業	20.3	55.5	27.9	32.2	41.5	16.7	17.3	5.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.6	0.8	▲1.5	1.4	▲2.6	▲2.1	▲0.4	▲4.3
食料品・たばこ工業	2.6	8.6	0.9	▲0.3	▲2.8	▲3.6	▲3.9	▲10.6

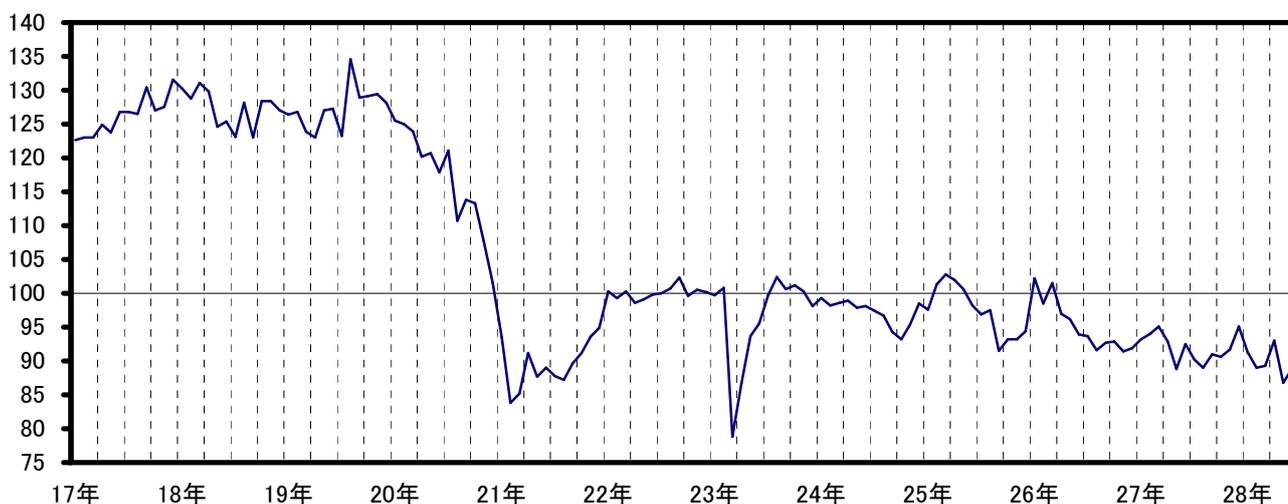
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## (2) 鉱工業在庫指数

6 月 = 116.4

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.5%減

\*前年同月比(原指数) : 同水準

### <概況>

6月の鉱工業在庫指数(総合)は116.4(季節調整済指数)で、前月比は1.5%減と3か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は前年と同水準となった。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。

業種別にみると、輸送機械(前年同月比 24.9%減)が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 4.2%減)が10か月ぶり、食料品・たばこ(同 12.0%減)が4か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同 0.4%増)が3か月連続、電気機械(同 25.5%増)が30か月連続、化学(同 1.3%増)が11か月連続で前年水準を上回った。

### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	121.7	123.0	121.6	125.0	125.9	121.9	118.2	116.4
前月比(%)	0.9	1.1	▲ 1.1	2.8	0.7	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 1.5
前年同月比(%)	17.4	19.6	21.2	19.0	12.3	9.1	6.0	0.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 0.5	0.0	0.2	▲ 0.9	▲ 0.2	0.1	0.6	0.0

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 6.9	▲ 7.8	▲ 10.2	▲ 3.0	▲ 8.5	2.6	2.4	0.4
電気機械工業	26.0	20.7	24.4	23.1	24.8	16.7	14.6	25.5
輸送機械工業	113.3	160.2	130.7	69.1	41.3	▲ 0.4	▲ 10.1	▲ 24.9
化学工業	9.8	14.7	11.5	17.3	14.1	13.6	4.2	1.3
パルプ・紙・紙加工品工業	6.5	11.2	13.5	10.0	6.0	1.9	1.8	▲ 4.2
食料品・たばこ工業	15.2	16.4	6.3	7.6	▲ 3.4	▲ 14.1	▲ 9.5	▲ 12.0

(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**7 月 = 1.36倍**

\*前月比（季節調整値）：0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

7月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.36倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、3か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比3.7%増）は6か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、情報通信業（前年同月比12.5%減）が9か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同3.4%増）が6か月連続、製造業（同2.8%増）、卸売業・小売業（同11.5%増）がいずれも9か月連続、運輸業・郵便業（同7.6%増）が2か月ぶり、医療・福祉（同7.2%増）が3か月ぶり、サービス業（他に分類されないもの）（同3.0%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
県	1.25	1.24	1.25	1.27	1.36	1.35	1.34	1.36
全 国	1.27	1.28	1.28	1.30	1.34	1.36	1.37	1.37

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
建 設 業	14.1	▲ 5.1	0.8	11.0	5.1	6.3	5.1	3.4
製 造 業	4.6	9.5	4.6	11.0	9.2	8.9	6.6	2.8
情 報 通 信 業	▲ 15.8	▲ 20.8	▲ 13.1	▲ 17.9	▲ 32.0	▲ 40.3	▲ 14.8	▲ 12.5
運 輸 業 ・ 郵 便 業	13.3	▲ 9.4	8.0	▲ 0.6	▲ 5.2	12.6	▲ 5.9	7.6
卸 売 業 ・ 小 売 業	17.5	18.9	59.3	28.0	12.0	64.3	6.6	11.5
医 療 ・ 福 祉	▲ 10.0	▲ 16.9	9.8	▲ 1.9	5.2	▲ 3.8	▲ 0.5	7.2
サービス業（他に分類されないもの）	24.8	▲ 13.6	▲ 5.3	11.4	20.0	15.8	13.0	3.0
合 計	6.5	▲ 5.1	11.1	7.9	5.6	9.1	2.4	3.7

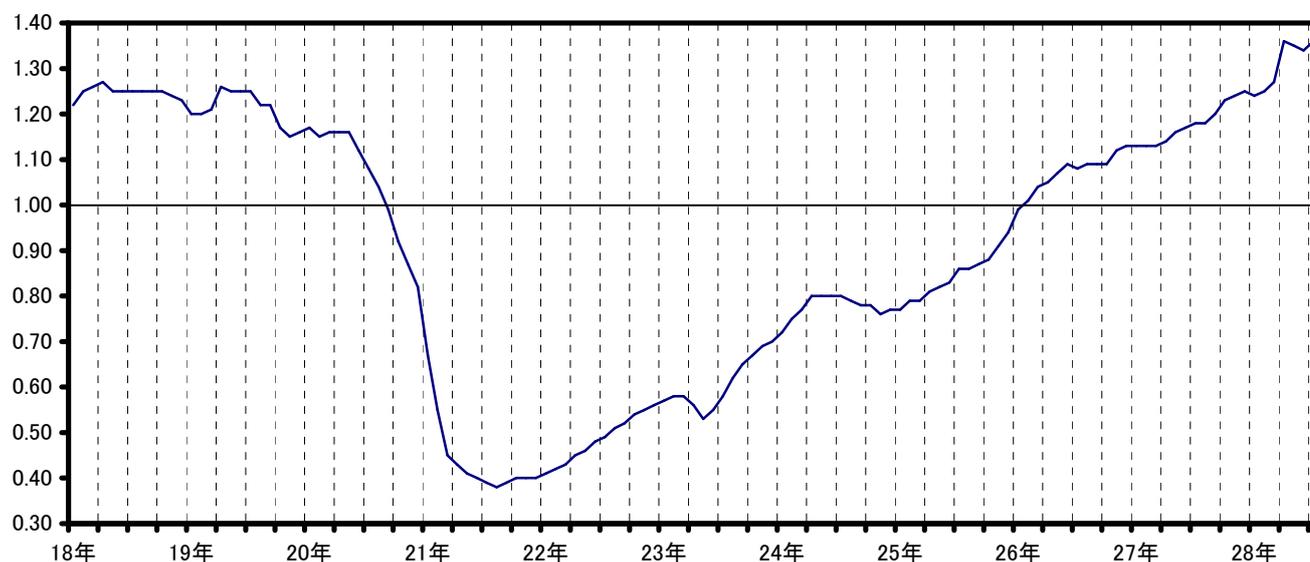
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

7月 = 12,580人

\*前月比: 0.5%増

\*前年同月比: 15.9%減

<概況>

7月の雇用保険受給者実人員は12,580人で、前月比は0.5%増と3か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は15.9%減と36か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は3.0%で、前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(平成28年4~6月)の完全失業率は2.6%で、前期(28年1~3月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
実人員(人)	12,320	12,525	12,042	11,671	11,113	11,955	12,519	12,580
前月比(%)	▲5.2	1.7	▲3.9	▲3.1	▲4.8	7.6	4.7	0.5
前年同月比(%)	▲11.0	▲10.1	▲8.7	▲9.8	▲12.8	▲13.2	▲14.0	▲15.9
(参考)全国前年同月比(%)	▲6.3	▲6.2	▲4.6	▲6.0	▲8.9	▲5.5	▲7.5	▲10.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完全失業率(全国)(%)	3.3	3.2	3.3	3.2	3.2	3.2	3.1	3.0

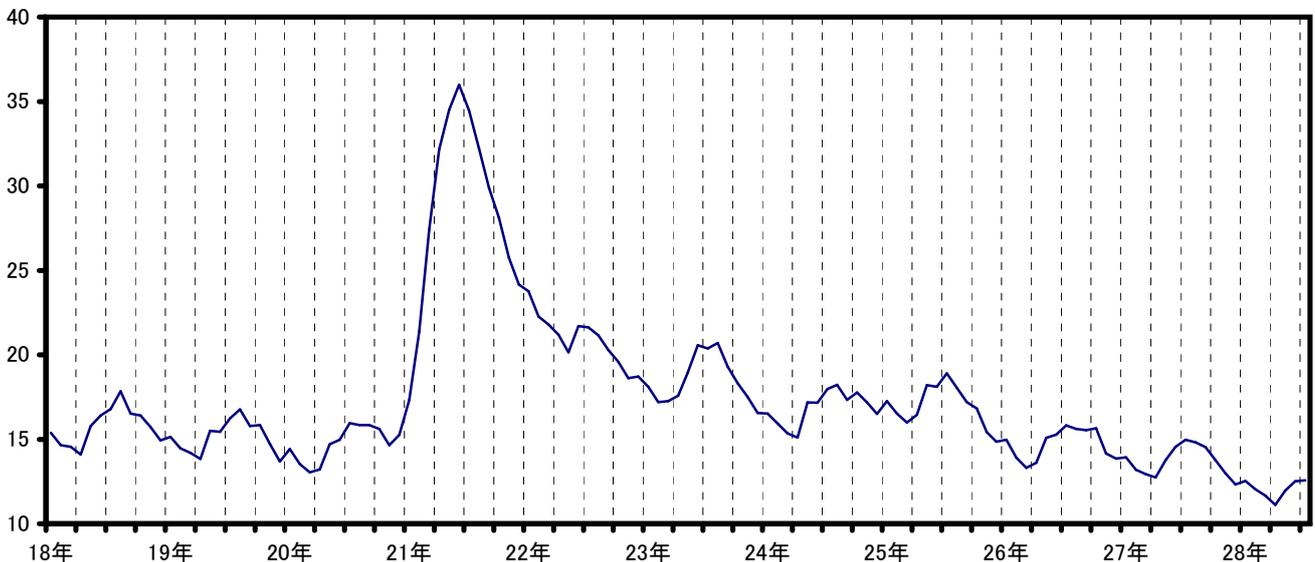
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



### (3) 所定外労働時間指数

6月 = 114.8

\*前月比(季節調整済指数): 0.6%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 7.2%増

#### <概況>

6月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は114.8(季節調整済指数)で、前月比0.6%減となった。また、前年同月比(原指数)は7.2%増となり、3か月連続で前年を上回った。

業種別にみると、情報通信業(前年同月比1.1%増)が3か月連続、医療・福祉(同20.3%増)が4か月連続、その他のサービス業(同8.6%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同0.6%減)が7か月連続、製造業(同2.2%減)、運輸業・郵便業(同4.3%減)がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。なお、卸売業・小売業は前年と同水準となった。

#### <最近の動き>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	113.0	111.0	108.6	111.5	107.1	112.5	115.5	114.8
前月比(%)	▲0.6	▲1.8	▲2.2	2.7	▲3.9	5.0	2.7	▲0.6
前年同月比(%)	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2
(参考)全国前年同月比(%)	0.8	▲1.5	▲3.1	▲1.6	▲0.7	▲0.7	▲2.4	▲0.8

\*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	8.6	▲5.4	▲31.6	▲31.5	▲33.9	▲37.5	▲13.5	▲0.6
製造業	9.1	0.4	▲1.1	▲3.9	▲7.0	3.8	1.8	▲2.2
情報通信業	59.3	55.0	32.4	▲7.8	▲9.1	5.4	4.9	1.1
運輸業・郵便業	1.4	▲0.3	▲10.6	▲1.6	▲9.9	1.3	2.1	▲4.3
卸売業・小売業	▲4.1	▲4.3	▲28.7	▲11.0	11.4	0.0	15.5	0.0
医療・福祉	38.4	▲20.9	▲19.4	▲13.9	6.9	14.9	9.9	20.3
その他のサービス業	2.6	15.6	6.5	6.4	▲1.6	▲7.7	6.8	8.6
調査産業計	5.1	0.5	▲2.7	0.0	▲2.0	5.5	9.9	7.2

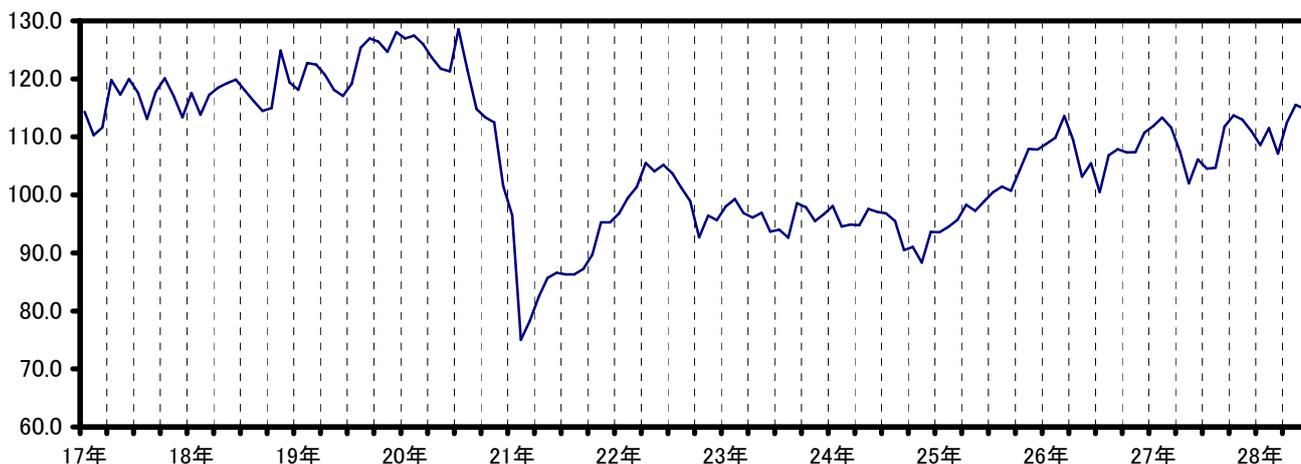
\*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

8 月 = 98.9

(平成22年=100)

\*前 月 比: 0.3%下落

\*前年同月比: 3.6%下落

#### <概 況>

8月の国内企業物価指数は98.9となり、前月比は0.3%の下落となった。また、前年同月比は3.6%の下落となった。

#### <最近の動き>

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
国内企業物価指数	100.0	99.7	99.6	99.2	99.3	99.2	99.2	98.9
前 月 比 (%)	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.3
前年同月比 (%)	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 3.8	▲ 4.2	▲ 4.3	▲ 4.2	▲ 3.9	▲ 3.6

\*平成22年=100

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

7 月 = 136,020億円

(銀行、信用金庫)

\*前 月 比: 同水準

\*前年同月比: 2.7%増

#### <概 況>

7月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は136,020億円で、前年同月比は2.7%増、前月比は同水準となった。

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出残高(億円)	137,340	136,096	135,700	138,097	135,831	135,574	136,065	136,020
前 月 比 (%)	2.5	▲ 0.9	▲ 0.3	1.8	▲ 1.6	▲ 0.2	0.4	0.0
前年同月比 (%)	2.8	2.8	2.6	2.5	2.3	2.2	2.5	2.7

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

7 月 = 2.155%

(県内地銀4行総平均)

\*前 月 差: 0.002ポイント増

\*前年同月差: 0.004ポイント減

#### <概 況>

7月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.155%で、前月から0.002ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.004ポイントのマイナスとなった。

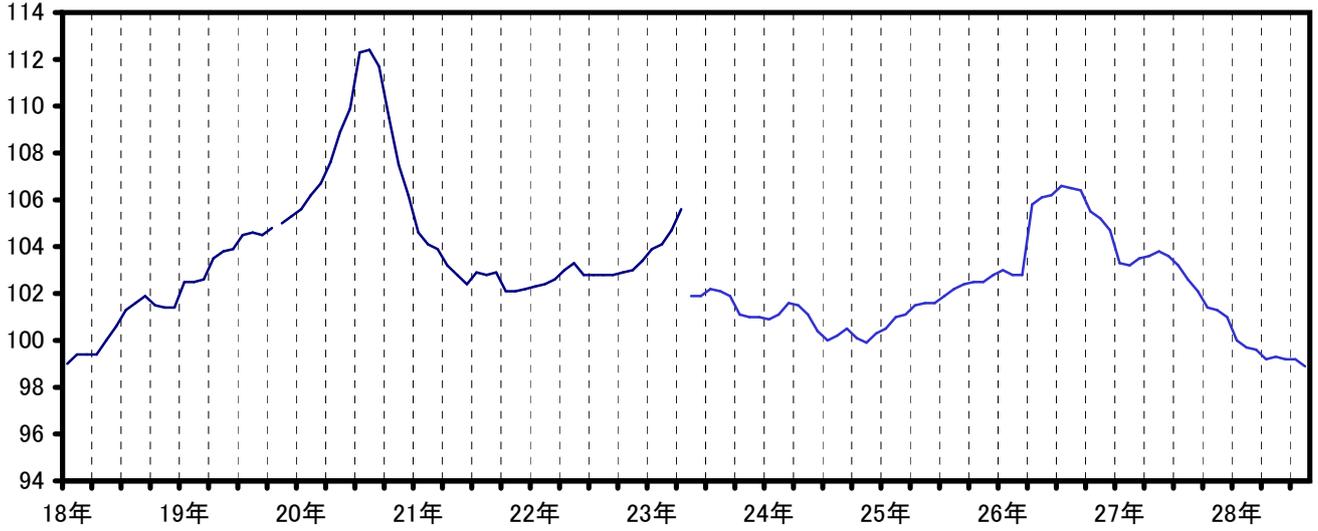
	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
貸出約定金利(%)	2.150	2.159	2.164	2.145	2.156	2.152	2.153	2.155
前月差(ポイント)	▲ 0.018	0.009	0.005	▲ 0.019	0.011	▲ 0.004	0.001	0.002
前年同月差(ポイント)	0.032	0.028	0.022	0.021	0.019	0.015	0.000	▲ 0.004

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

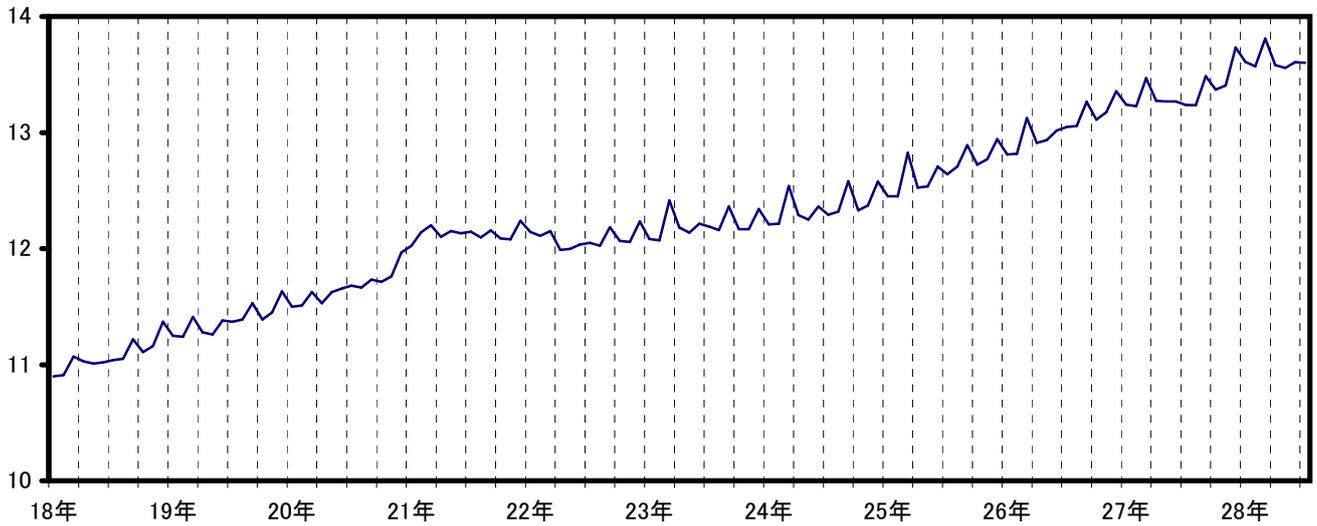
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



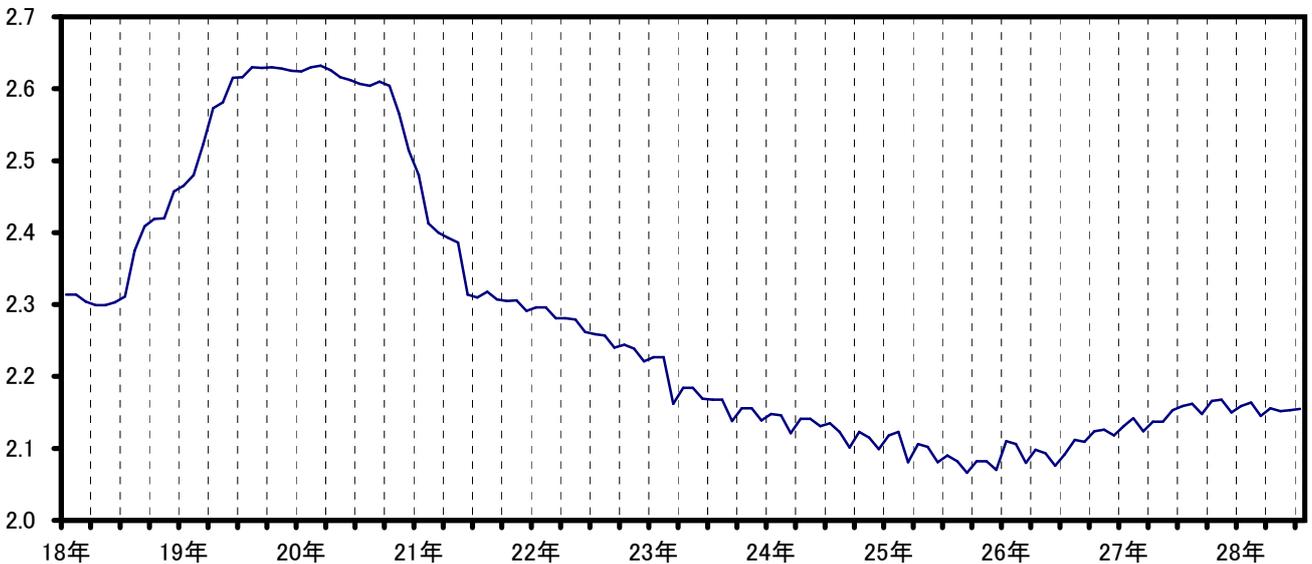
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****7月 = 20,714百万円**

\*前年同月比： 5.9%減

## &lt;概況&gt;

7月の保証承諾は、金額が20,714百万円（前年同月比 5.9%減）と前年を下回り、件数は2,009件（同 15.1%減）と16か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	27年12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
保証金額（百万円）	26,865	15,313	18,631	24,978	14,208	17,302	23,147	20,714
前年同月比（%）	▲ 12.6	▲ 18.2	▲ 12.0	▲ 19.1	▲ 15.9	0.0	▲ 3.5	▲ 5.9
保証件数（件）	2,647	1,694	2,029	2,621	1,600	1,835	2,324	2,009
前年同月比（%）	▲ 16.6	▲ 12.7	▲ 13.3	▲ 18.5	▲ 13.8	▲ 6.2	▲ 11.9	▲ 15.1

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****8月 = 101.27円/ドル**

\*前月差： 2.63円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

\*前年同月差： 21.96円高

## &lt;概況&gt;

8月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は101.27円で、前月と比べて2.63円の円高となり、9か月連続の円高となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
平均相場（円）	118.25	115.02	113.07	109.88	109.15	105.49	103.90	101.27
前月差（円）	▲ 3.59	▲ 3.23	▲ 1.95	▲ 3.19	▲ 0.73	▲ 3.66	▲ 1.59	▲ 2.63
前年同月差（円）	0.01	▲ 3.55	▲ 7.32	▲ 9.67	▲ 11.59	▲ 18.26	▲ 19.33	▲ 21.96

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****8月 = 19件**

\*前年同月比： 5.5%増

## &lt;概況&gt;

8月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は19件（前年同月比 5.5%増）、負債総額は2,065百万円（同 8.7%増）となり、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が18件と全体の94.7%を占め、225か月連続して50%以上となっている。

## &lt;最近の動き&gt;

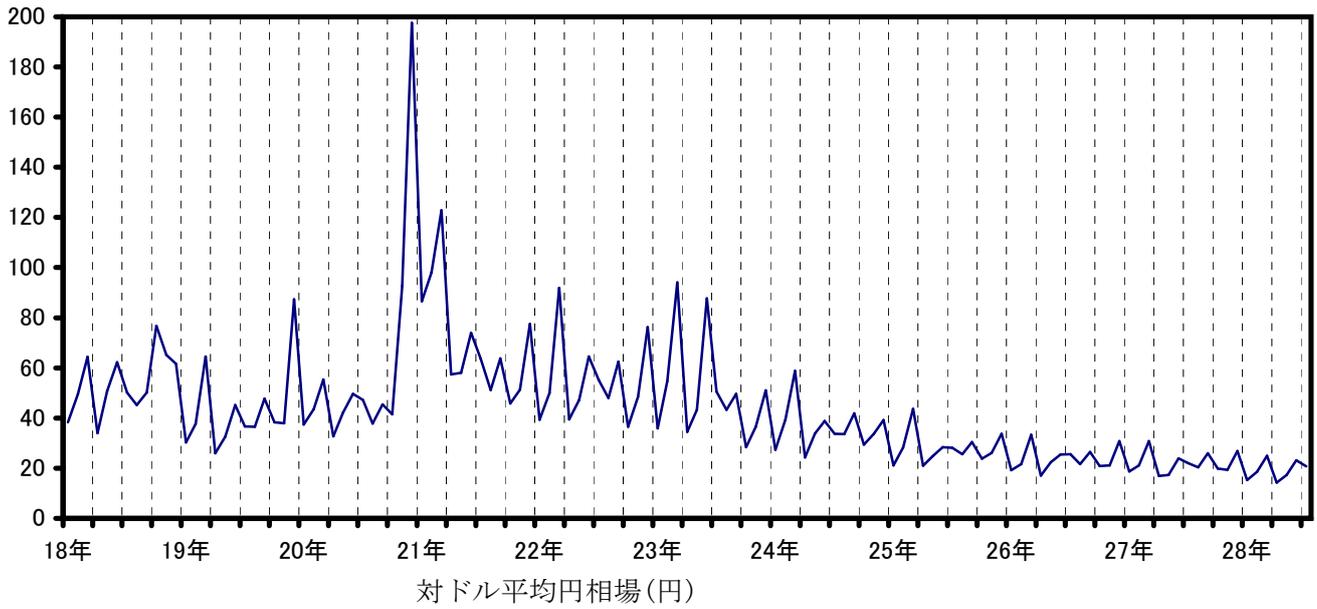
	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
倒産件数（件）	19	27	25	12	35	31	36	19
前年同月比（%）	▲ 24.0	50.0	8.6	▲ 52.0	66.6	47.6	56.5	5.5
うち不況型倒産件数（件）	16	26	21	11	33	27	33	18
負債総額（百万円）	3,134	2,949	2,899	1,704	8,797	5,095	8,498	2,065
前年同月比（%）	▲ 51.0	50.0	▲ 2.8	▲ 57.4	205.6	▲ 40.7	113.2	8.7

&lt;資料&gt;（株）東京商工リサーチ静岡支社

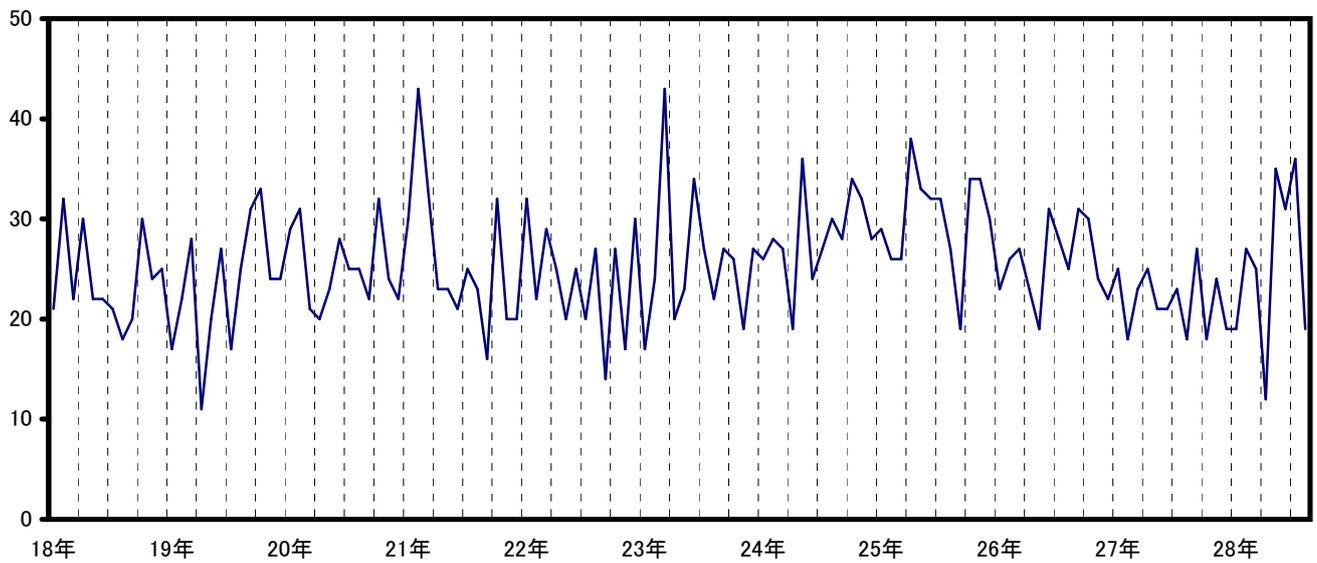
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 平成28年7月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>7月の国内二輪車生産台数は、35,105台（前年同月比 14.1%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、7,034台（同 22.0%減）、小型二輪車(251cc以上)は、19,311台（同 20.5%減）と前年実績を大きく下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは24,570台（同 20.4%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>輸出向けは26,590台（同 5.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>7月の自動車国内生産台数は807,165台（前年同月比 4.1%減）となり、2か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は413,619台（同 0.5%減）となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、トラックが15か月連続、乗用車が2か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>7月の冷蔵庫の国内出荷額は523億6,900万円（前年同月比 13.4%増）、国内出荷台数は441千台（同 4.1%増）となり、ともに3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>7月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,542千台（同 12.4%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。業務用は85千台（同 2.7%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月の携帯電話と公衆用 P H S を合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,783千台（同 32.2%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,186千台（同 32.3%減）となり、夏モデル出荷の開始により、5か月ぶりに1千台を超えた。単月のスマートフォン比率は66.5%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>7月の工作機械の受注総額は、1,043億9,400万円（前年同月比 19.7%減）と、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は530億9,200万円（同 24.3%減）で、14か月連続で前年実績を下回った。特に、アジア向けが211億1,500万円（同 30.4%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。内需は513億200万円（同 14.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、イギリスに進出している大企業の業績低迷が懸念され、それが下請け企業にも影響し、受注が極端に減少しているという声や、国内の設備需要が盛り上がり欠ける中、設備機械の輸出販売ルートを確保している企業は多忙感があり、二極化が鮮明になりつつあるという声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>7月の県内楽器メーカーの販売金額は、56億9,700万円（前年同月比 2.9%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが31億3,800万円（同 16.7%減）で、国内向けが25億5,800万円（同 21.9%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,179台（同 5.9%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,150台（同水準）、グランドピアノが1,029台（同 16.3%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,535台（同 1.7%増）、国内向けが948台（同 23.2%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>7月の紙・板紙の国内出荷高は、2,053千ト（前年同月比 3.4%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は、紙は1,105千ト（同 3.6%減）で、前月の増加から減少に転じ、板紙は948千ト（同 3.2%減）で、6か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、602千ト（同 4.2%減）で、前月の増加から減少に転じた。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、140千ト（同 0.8%増）と、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>7月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,031千箱（前年同月比 2.5%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は752千箱（同 0.7%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶も562千箱（同 1.0%減）と、4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は279千箱（同 12.1%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,479千箱（同 1.8%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>7月の広幅織物の県内生産は、1,133千㎡（前年同月比 1.4%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,080千㎡（同 1.3%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、53千㎡（同 3.8%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、28千㎡（同 22.3%減）で、7か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>7月の全国百貨店での家具販売額は、59億2,306万円（前年同月比 4.6%減）と5か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、516億6,959万円（同 0.9%減）と13か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>7月の県内百貨店の売上高は、前年と比べて降雨日が少なく好天が続いたことや、土曜日及び日曜日がそれぞれ一日ずつ増えたことなどにより、対前年比1.1%増となった。</p> <p>商品別では、化粧品が同23.1%増と好調が継続し、雑貨全体も同8.4%増加した。また衣料品に関して、全体が同1.6%減と前年を下回ったが、婦人服・洋品が同0.3%増と回復の兆しを見せている。</p> <p>東部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、土用の丑の日に販売した、うなぎが昨年を上回る売れ行きであり、中でも国産物がよく売れていた。</p> <p>西部地域の食品スーパーへの聞き取りでは、猛暑のためアイスやドリンク、乾麺がよく売っていた。</p> <p>7月の県内商店街では、夏の風物詩といえる恒例イベントが各地で開催された。中部のある商店街では七夕にちなんだイベントが、西部のある商店街では、夜店市がそれぞれ開催され、にぎわいを見せた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>平成28年7月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約36万人で、前年同月比19.4%増となった。今年は昨年より遅い梅雨明けとなったが、平年より日照時間が長く降水量が少ないなど、ひと月を通して天候に恵まれたことが増加の要因として考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約76万台となっており、前年同月に比べて6.5%増となった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

## = IVデータからみた県内主要産業 =

### <二輪車>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
完成車生産台数(台)	17,245	18,593	20,329	22,973	22,614	20,913	16,802	16,487	16,815
前年同月比(%)	▲21.9	▲14.6	2.7	8.5	4.8	35.0	22.5	9.7	▲10.4
KD輸出額(百万円)	724	922	740	719	706	646	535	760	677
前年同月比(%)	▲37.1	▲22.8	▲34.4	▲28.8	▲31.5	▲36.7	▲42.9	▲7.6	▲25.9

### <楽器>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
生産総額(百万円)	3,654	3,667	3,349	3,607	3,821	3,837	3,376	4,157	3,817
前年同月比(%)	6.6	5.8	▲1.0	5.5	4.4	▲2.8	▲9.3	▲2.5	▲10.3

### <缶詰>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
食缶生産高(千ケース)	968	882	835	849	1,015	1,023	1,019	1,112	1,031
前年同月比(%)	12.7	16.8	5.7	▲4.5	8.6	11.0	15.0	5.9	2.5
うち水産缶詰(%)	11.2	16.0	3.8	▲0.9	▲1.4	0.6	3.7	0.4	▲0.7
農畜産缶詰(%)	18.1	19.3	11.1	▲13.0	40.9	45.5	55.5	23.1	12.1
飲料缶生産高(千ケース)	6,770	6,466	4,321	5,128	7,176	7,924	8,363	7,714	8,479
前年同月比(%)	▲2.5	▲1.9	▲12.6	▲1.4	2.9	0.4	6.9	▲12.0	▲1.8

### <繊維>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
広幅織物(千㎡)	1,796	1,749	1,613	1,447	1,462	1,511	1,203	1,196	1,133
前年同月比(%)	13.7	13.9	11.7	▲4.1	▲3.7	▲0.5	▲1.5	▲2.3	▲1.4
小幅織物(千㎡)	41	39	33	37	37	37	33	30	28
前年同月比(%)	14.4	5.4	▲9.0	▲4.0	▲1.6	▲5.1	▲16.4	▲20.1	▲22.3

### <観光>

	27年11月	12月	28年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
観光施設(10施設)入込 (千人)	394	261	282	261	500	510	654	330	363
前年同月比(%)	▲1.7	19.4	11.8	7.0	6.9	15.3	▲3.0	▲3.9	19.4
有料道路(5路線)通行量 (千台)	687	701	647	682	760	684	732	649	755
前年同月比(%)	▲1.4	4.0	3.9	12.5	0.0	5.2	2.1	4.1	6.5

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

## 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

## 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

**静岡県月例経済報告**  
平成28年9月号 通巻485号

発行 静岡県経済産業部  
平成28年9月

編集 経済産業部管理局政策監  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>